※令和４年度以降入学生用

学校番号	309

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の美術」　（日本文教出版）						
副教材等	油絵具、鉛筆、プリント教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

主に油絵を描きます。生物や風景などの実在するモチーフを観察し、キャンバスに油絵具を用いて描写します。誰でも簡単に写真を撮って加工できる現代だからこそ、改めて身体と時間を使って何かを作り出すことに是非挑戦してみてください。

２　学習の到達目標

(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
(2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
(3)主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を創意工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら見通しをもって創造的に表している。	構図、立体感、質感、形態、固有色、空間など、複数の視点を持って制作に取り組んでいる。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に主題を生み出し、意図に応じて創意工夫し、見通しをもって表現の創造活動に取り組もうとしている。 主体的に作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなど、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	静物画	鑑賞 ワークシート アイデアスケッチ 作品制作	a:混色や重ね塗りなど、油絵具の性質を生かしてモチーフの色や質感、明暗を表現できている b:キャンバスの矩形を意識し、構図を工夫している。また、３点のモチーフを比較し、大きさや形の違いを観察している。 c: 意図に応じて創意工夫し、見通しをもって表現の創造活動に取り組もうとしている。	作品提出 ワークシート	作品提出 ワークシート	作品提出 ワークシート 行動観察
2	風景画	鑑賞 ワークシート アイデアスケッチ 作品制作	a: 混色や重ね塗りなど、油絵具の性質を生かしてモチーフの色や質感、明暗を表現できている。 b: キャンバスの矩形を意識し、構図を工夫している。また、線遠近法、空気遠近法、重畳遠近法を理解している。 c: 意図に応じて創意工夫し、見通しをもって表現の創造活動に取り組もうとしている。	作品提出 ワークシート	作品提出 ワークシート	作品提出 ワークシート 行動観察
3	自画像	鑑賞 ワークシート アイデアスケッチ 作品制作	a: 混色や重ね塗りなど、油絵具の性質を生かしてモチーフの色や質感、明暗を表現できている。 b:自らの顔の細やかな特徴をとらえている。頭部という塊であることを意識し、立体的に描いている。 c: 意図に応じて創意工夫し、見通しをもって表現の創造活動に取り組もうとしている。	作品提出 ワークシート	作品提出 ワークシート	作品提出 ワークシート 行動観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度